

# 自治体発行NFTによる関係人口創出と地域活性化

～第33回 地方公共団体フォーラム 主催:三菱UFJ銀行～

令和5年11月

西川町長 菅野大志

これが噂の1500人を超えるLINEグループ！

すっだいを実現する町・西川  
一緒にトークしたい友だちを招待しましょう。



## 本業＝公務員



- 2001年 財務省
- 2006年 金融庁 銀行第一課 MUFJ担当
- 2008年 財務省
- 2018年 金融庁
- 2019年 金融庁
- 2020年 環境省 兼 金融庁
- 2021年 内閣府 地方創生推進室
- 2021年 内閣官房 デジタル田園都市事務局
- 2022年 山形県西川町 町長  
西川町総合開発(株)社長、観光協会副会長等

## 部活＝商人 つながり



ちいきん会

ETIC

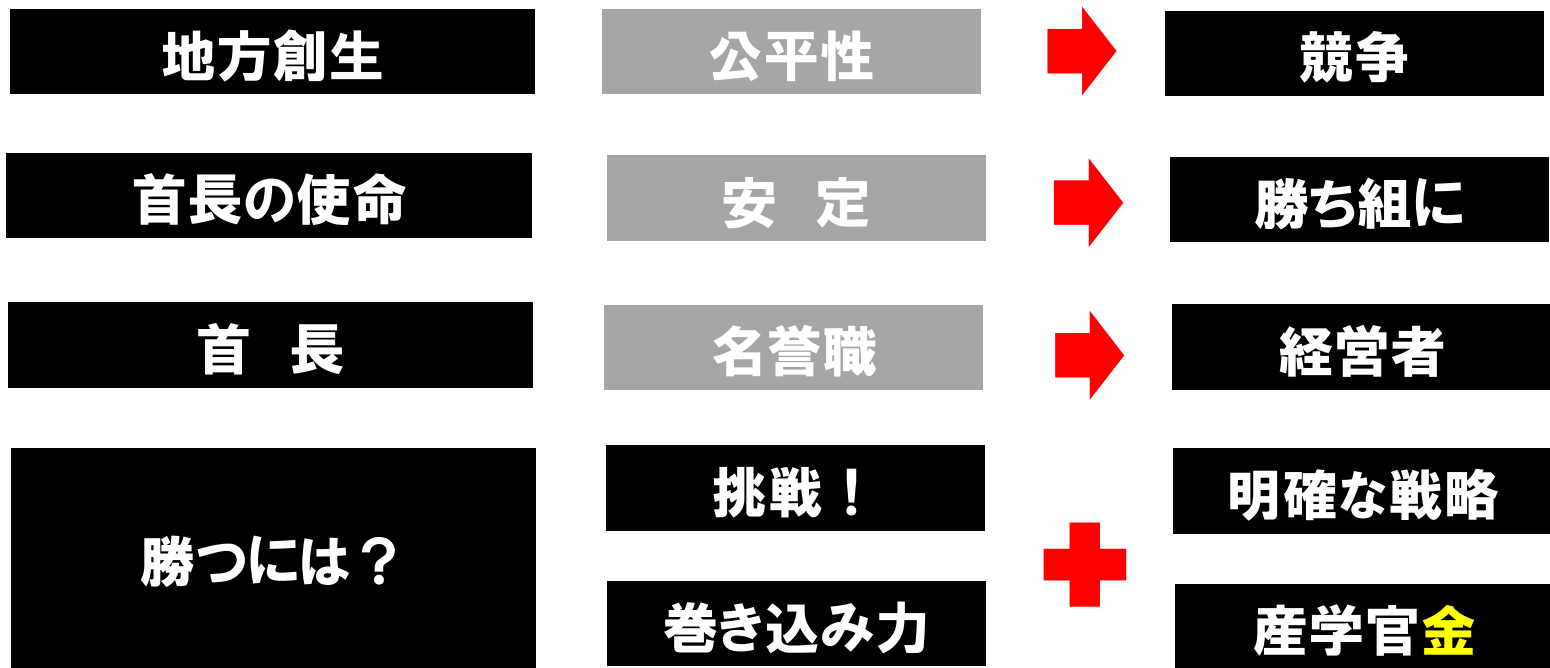
北上市  
地域商社

Work Design Lab

①公務員(管理者、実務者)、②政治家、③民間(経営者、プレイヤー、イノベーター)

# 1. 首長に求められること

10年前の地方創生政策より、アイデア勝負の競争前提  
1800自治体が、1800億円を取り合う時代！



## 自治体職員に求められること 課長補佐への昇格のポイント

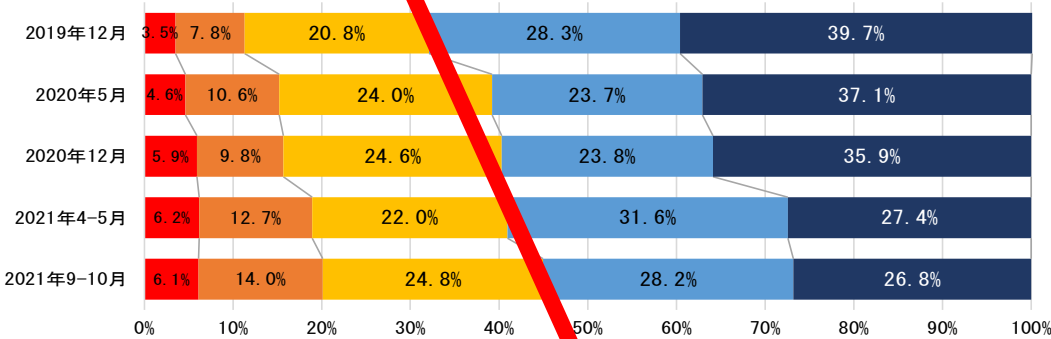
- ① 情報共有でき、まとめる能力のある職員
- ② 何事も**積極的**な職員
- ③ **財源確保**と目的達成を意識して事業遂行できる
- ④ 事務能力の長けた職員
- ⑤ **共感**を呼べる職員
- ⑥ 町民との**対話に積極的**な職員
- ⑦ **外の人**も大事にする職員

# 2. 明確な戦略 目的:若者の移住(←関係人口←観光) 手段:デジタル活用

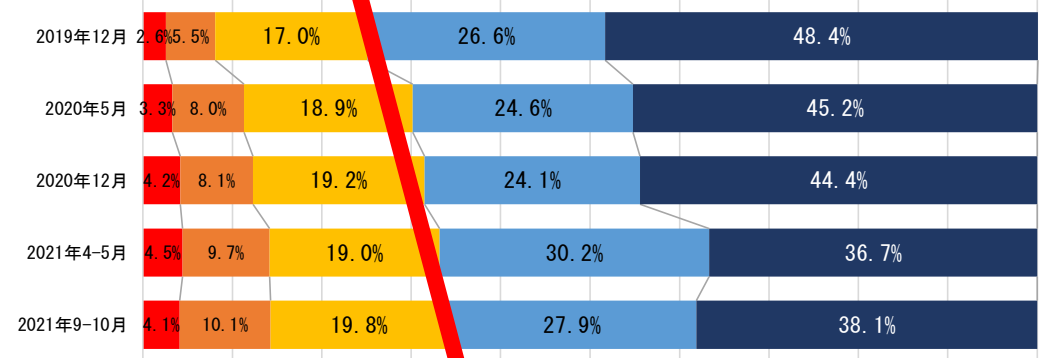
## なぜ、若者をターゲットにするのか？

### ■地方移住への関心(東京圏在住者)

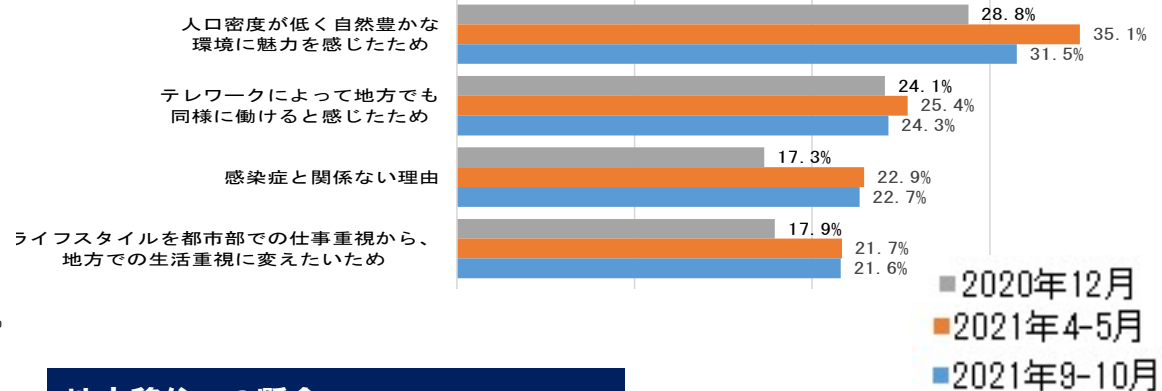
20代 関心がある(赤) 関心がある(黄) あまり関心がない(青) 全く関心がない(黒)



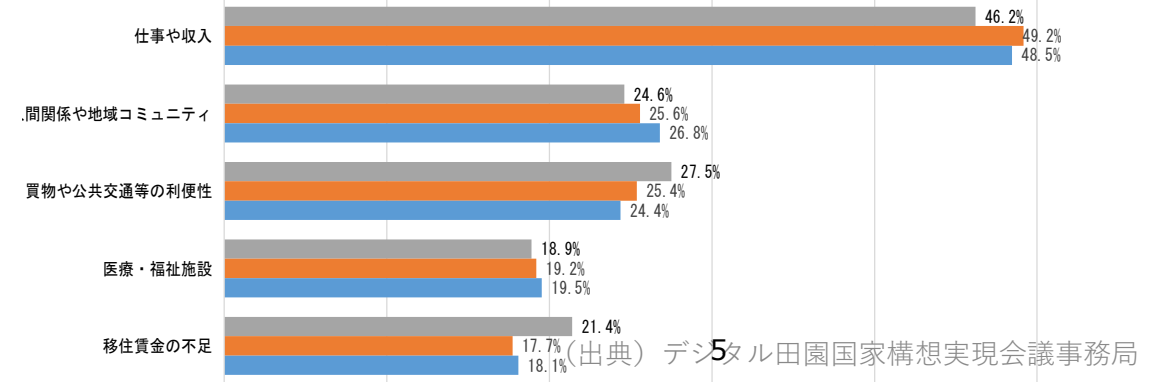
全世代



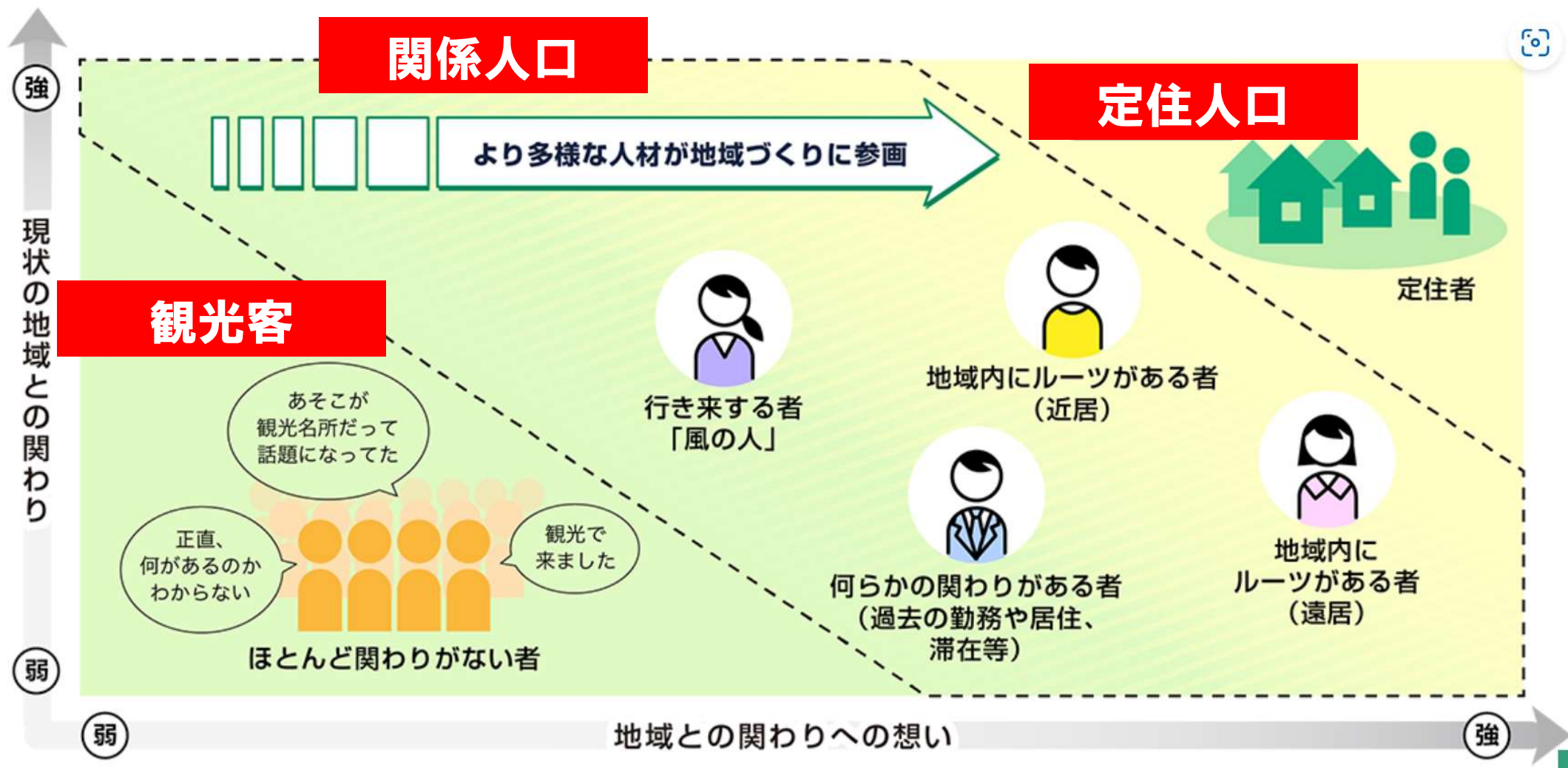
### 地方移住への関心理由



### 地方移住への懸念



# 観光客と移住者の間 = 関係人口 = 西川ファン 50,000人



# 西川町のターゲット（若者・リッチ層）を関係人口への取込策

温泉ガストロノミー【2回/年×5年】

小学・保育まるごと留学【2回×5年】

デジタル住民票NFT【4回/年発行×5年】



日本初「自治体発行デジタル住民票NFT」が13.4倍の人気

Nishikawa Town Digital Residents NFT  
山形県西川町デジタル住民票 NFT

Forbes JAPAN

用が目立つNFTだが、  
る。昨今、地方自治体  
て、移住や観光ではな  
係人口」の創出に取り  
...

Nishikawa Town Digital RESIDENTS  
西川町  
NISHIKAWA TOWN



富裕者

若者

どこでもサウナ【永久】

AI謎解き【1本/年×5年】

Sea to Summit【1回×5年】

メタバース観光【1本/年×5年】



[HTTPS://WWW.YOUTUBE.COM/WATCH?V=6NV9FJTOLMY](https://www.youtube.com/watch?v=6NV9FJTOLMY)



「VRゲーム」で町ににぎわいを... 山形・西川

# デジタル住民票NFT 若者層を中心とした関係人口の創出へ

地方への移住の関心が、特に20歳代に強く高まるなか、町では、仙台圏・首都圏における若者層をメインのターゲットに持続可能な観光事業を展開し、交流人口から関係人口の拡大を目指している。  
デジタル住民票NFTの発行は、デジタル技術を生かした交流促進施策をリードする取り組みの一つ。

## デジタル住民票NFTを発行した理由

- 1 若者層×富裕層のつながるため
- 2 町の歳入につながる \* 歳入の予算措置のみ  
(特典/町長とのオンラインサロン参加 = 価値向上への動機付け)
- 3 交流人口の増加 (特典/温泉入浴無料など)
- 4 イノベーションの創出
- 5 NFT・デジタルに明るい町! \* プロモーション効果

## デジタル住民票NFTの概要

- 発行者 西川町
- 運営者 メディアエクイティ(株) → 4月14日に包括連携協定を締結
- マーケット HEXA (ヘキサ)  
→ 日本円だけでも発行・売買ができる日本最大級のマーケット

自治体主体での発行は“全国初”



## 販売 (第1弾) 1,000個限定(1,000円/個)

- 申込期間 4月17日~4月28日
- 申込倍率 13.4倍
- 価格 1,800円 (MAX10,000円)
- 保有 557人 (10月末時点)
- 収益 販売金額の60% (転売10%)

## 山形県西川町デジタル住民票 NFT (第1回)

保有者: 氏名



時刻: リアルタイムが表示

## その他の展開

- 1 かせぐ基金の設置 (町立病院維持)
- 2 公園命名権NFT販売→130万円落札
- 3 町長生成AIアートNFT等の販売
- 4 保有者リアル交流会 (11月9日)

## 今後の展開

- 1 町内事業者特産品NFTの販売
- 2 販売(第2弾)の実施
- 3 AIアート付加による価値向上
- 4 ファンクラブサイトとの連動

## 初回特典

- 毎月の町長オンラインコミュニティへの参加 (6月8日開催。2回目は7月24日)
- ニュースレター・トピックの提供
- 水沢・大井沢温泉館の入浴無料 (1回あたり大人2名まで)
- 月山自然水1本をプレゼント (道の駅で1,000円以上の買い物をした場合)



# 予算の原則

ニーズベース

二、地域課題解決

三、経済効果

四、関係人口

五、持続可能性

六、財源確保

菅野大志

# デジタル政策を進めるにあたって

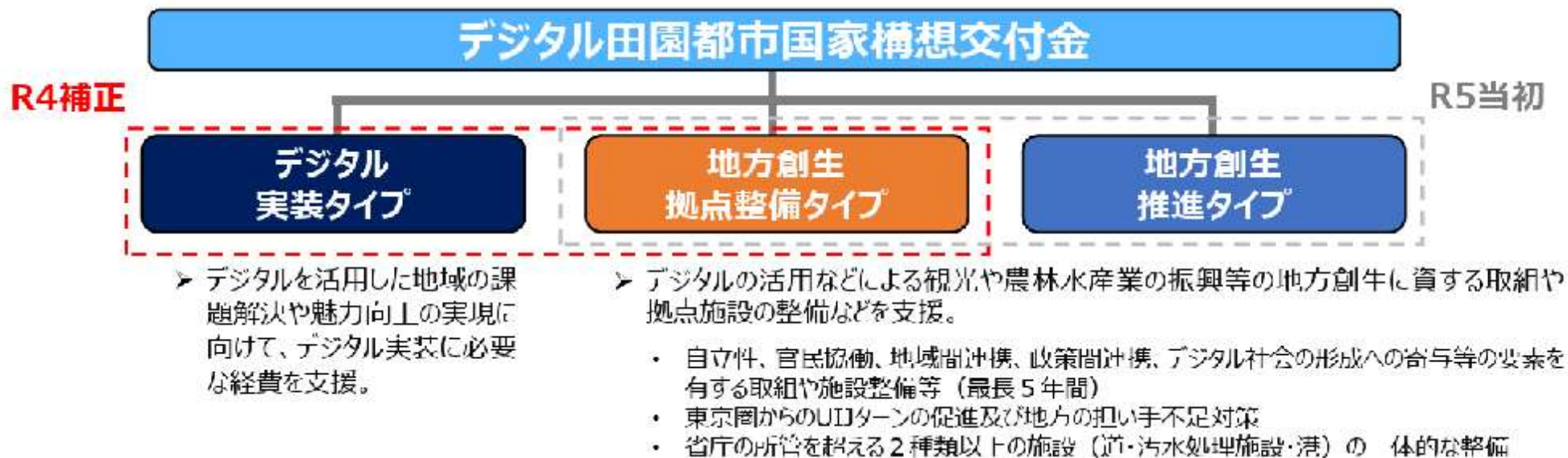
- ① 解像度高く、地域課題を把握すべし！
- ② 補助金は、国でたくさん用意しているが  
申請者＝自治体が多い。自治体と対話を。
- ③ パートナーはすぐに選ばない。信頼あるところに。

# 4. 西川の課題解決に向けたデジタル田園都市国家構想実現政策

## デジタル田園都市国家構想交付金の創設



R5当初予算案：1,000億円、R4補正：800億円（R4当初：1,000億円／R3補正：660億円）

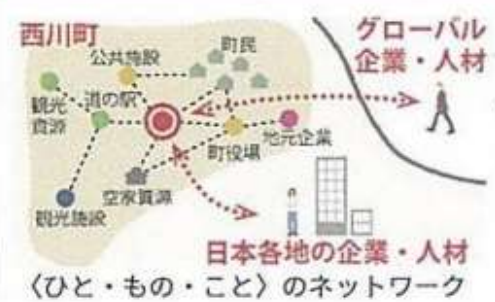




# 地域における交流の促進とデジタル田園都市の実現へ向け、 まちの「つなぐ・つながる」風景をつくるための施設整備

山形県西川町

R4年12月26日

- 現状：西川ファン（関係人口）活用を政策の柱に公表⇒多数の連携協定、民間提案100件超、複業人材活用
- 課題：▲西川ファンの滞在施設がない ▲地区を超えた交流の場少ない ▲カフェ・創業想起の場がない
- 目的：交流人口・関係人口は拡大しているが、地域課題の解決やイノベーション創出に向け、町民や西川ファンのニーズを満たす、新たなにぎわいづくりの拠点となる複合施設を早期に整備したい。

|              | 交流人口の拡大  | 関係人口の創出   | 移住人口の確保   |
|--------------|--|---|---|
| 各種事業         | <b>■観光客倍増計画</b><br>○新たな観光：AI謎解きゲーム、サウナのまち、蘚苔類学会招聘(苔の道)、ガストロノミーツアー、シートゥーサミット  | <b>■複合施設での交流促進</b><br>○関係人口のテレワークの場と、町民の憩いの場として、交流を促す<br>○対話を通じた町民が求める施設へ | <b>■課題解決型人材の移住へ</b><br>○R5年度、「つなぐ課」を設置<br>⇒交流・関係人口と町民との交流を強化<br>地域課題の解決への事業創出   |
| KPI<br>R6⇒R8 | <b>■来館者</b> 2,000人 ⇒ 6,000人<br><b>■域外利用者</b> 1,000人 ⇒ 3,000人<br><b>■サテライトオフィス</b> 3社 ⇒ 10社<br><b>■移住者数</b> 37人 ⇒ 55人                             |   |  <p>西川町<br/>観光資源、公共施設、道の駅、観光施設、空家資源、町役場、地元企業、町民、グローバル企業・人材、日本各地の企業・人材<br/>〈ひと・もの・こと〉のネットワーク</p> |
| 事業費          | 394百万円（建築300M、外構60M、設計34M）   |   |   |
| 目指す姿         | <b>■「みんなで作る」を徹底</b><br><b>■AI観光、マイナンバーカード活用等、町全体のデジタル化推進の結節点</b><br><b>■地区や世代を超えて、人が集まり、伝統文化の継承なども</b><br>コワーキングスペース<br>オンラインイベント、カフェ<br>シェアキッチン |   |   |
|              |  町内、町内外で人と人をつなぎ、イノベーションが創造                                    |   |   |
|              |   |   |   |

# 町の強みであるカヌースポーツを核とした艇庫&コワーキング施設の整備

山形県西川町

R4年12月26日

- 現状：平成4年度の国体で西川町がカヌー競技会場となって以降、優秀な指導者・選手を多数輩出。カヌースプリント会場（寒河江ダム）は、1,000mかつ自動発停装置を整備。国内3会場のみ。
- 課題：▲艇庫がないため、大きな大会を誘致できない（その都度、テントや仮設トイレを設営）  
▲カヌー拠点がなかったために、寒河江ダムのオープン化を進められず観光に活かしきれていない。  
▲カヌー選手引退後、カヌーに関する雇用が少ない。カヌー関係の企業を誘致できない。
- 目的：わが町の特性を活かした、スポーツ・レジャー両面を有する多機能型カヌー艇庫の整備により、国際・全国規模の大会誘致やカヌーを身近に感じてもらう観光商品の造成、さらには地域と選手・ワーケーション実施者との交流により、交流人口の拡大・雇用・イノベーションを創出する。

## スケジュール

R5年：実施設計 ➡ R6年度：建設 ➡ R7年4月：オープン

## 事業費

R5年：50百万円 ➡ R6年度：500百万円 ➡ R7年4月：オープン

## 目指す姿

### 雇用・イノベーション

#### ■イノベーション

- コワーキングS➡ワーケーションの交流
- サテライトオフィス機能
- 体験S➡苔テラリウム体験・AIアート

#### ■新たな観光の創出

- 水上グランピングキャビン(フロート式)
- 雪へのプロジェクションマッピング
- 軽飲食S➡宿泊・長期滞在可能な施設

### スポーツ機能

#### ■大会誘致と合宿誘致

- 関東インターカレッジ
- 全国中学カヌー大会
- 高校インターハイ
- 地元中学・高校の練習場
- 全日本監督代表監督率いる地元高校との合宿
- 艇庫、トレーニングルーム

### レジャー機能

#### ■日常的なカヌー等観光

- ダムのオープン化の実施
- カヌー・サップの実施
- 湖面を利用者宿泊
- SEA TO SUMMIT(カヌー・自転車・RUN)開催

## KPI R7➡R9

|        |        |   |        |
|--------|--------|---|--------|
| ■来館者   | 2,000人 | ➡ | 6,000人 |
| ■域外利用者 | 1,000人 | ➡ | 3,000人 |
| ■雇用    | 5名     | ➡ | 10名    |
| ■大会誘致  | 2大会    | ➡ | 5大会    |



# AI観光コンテンツ制作を通じた課題解決型人材の確保へ！

## ～ 交流人口拡大とコアな関係人口の整備事業 ～

山形県西川町

R4年度2次推進交付金

- 課題：交流人口の減少（観光の担い手不足）、関係人口の未整備、人口減少
- 集客型イベントに依らない、周遊型AI観光コンテンツ制作を通じて、関係人口（課題解決型人材）を整備し、交流・移住人口の増加、経済効果、企業の生産性向上にも寄与する。

| 現状           | 交流人口  | 関係人口   | 移住人口   |
|--------------|---|--|--|
| 事業           | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 周遊型観光コンテンツ制作</li> <li>○ コロナ対応、入込客の平準化、誘客イベントに依らない本コンテンツを設置。</li> <li>○ コンテンツ制作にあたってのは、町民や課題解決型人材と共創。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 課題解決型人材の活用拡大</li> <li>○ デジタル人材を中心に、本コンテンツの広報や経済効果の結び付け、事業者へのリテラシー向上に活用。</li> <li>○ 事業者の生産性向上のために活用</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 課題解決型人材の移住へ</li> <li>○ 事業者が抱える課題解決への関与や、本コンテンツの追加・更新を通じて、コアな町ファンづくりを行う。</li> <li>○ 事業承継につながるモデルの構築</li> </ul> |
| KPI<br>R3→R8 | 観光客：49万人→100万人  | 課題解決型人材登録：0人→135人  | 移住人口：2人→92人  |
| 事業費          | 5年総額 1億5,302万円 (R4：2,630万円、 <u>R5：3,168万円</u> 、 <u>R6：3,168万円</u> 、 <u>R7：3,168万円</u> 、 <u>R8：3,168万円</u> )   |  |  |
| 体制           | 西川ファン創出推進協議会：西川町、西川町商工会、(一社)月山朝日観光協会、西川町総合開発(株)月山志津温泉旅館組合、(一社)ちいきん会、(株)ライトライト、東武トップツアーズ(株)、よい仕事おこしフェア実行委員会(城南信用金庫)、(株)クノウ、(株)クリエイターズネクスト他   |  |  |
| 成果           | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 西川町は、観光と農業を主力産業とする約4,800人の町で、人口・観光客が減少</li> <li>■ 町でノウハウを有しない、周遊型AI観光にあえて取組むことにより、デジタル人材を中心とする課題解決型人材を呼び込み「デジタル活用による稼ぐ町」にしたい。</li> <li>■ 経済効果は、観光関係の約6,500万円/年を見込み、企業の売上向上に資する。</li> </ul> |  |  |



# 「交流・関係人口拡大からの移住・移転の推進事業」

山形県西川町

## ～子育て世代に移住先として選ばれる地域を目指し全力伴走!!～

R5年度推進交付金

- 課題：生産年齢人口の減少が続いていることから、観光をフックにした関係人口の拡大事業を進めている。しかし、子育て支援環境などわが町のウリから関係人口につなげる事業がない、また移住後の受入体制・伴走を整備する必要あり。
- 目的：移住先として選ばれる地域を目指して、子育て世代の女性が仕事と育児を両立できるような職場環境の整備に取り組み、移住体験を通して、関係人口の定住化（二地域居住）を図り、若者・子育て世代の移住を促進したい。

| 対策        | 首都圏での情報発信『HOP!』   | 子育てから西川の関係人口へ『STEP!!』  | 関係人口から移住体験へ『JUMP!!!』  | 移住を決めるインセンティブと支援『LAND』  |
|-----------|---|--|---|---|
| 事業        | <p>■首都圏から西川町に『人の流れをつくる』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○東京圏へアンテナショップを出店し情報発信の拠点化</li> <li>○首都圏における協力者との情報発信・物販事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・不動前商店街（品川）</li> <li>・商店会、かほくらし等（三軒茶屋）</li> <li>・どリーむかむとーるー（新宿区）</li> </ul> </li> </ul>   | <p>■子育て目線等からの関係人口となる契機づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○異地域留学等の受入事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園留学（子どもを主役にしたワーケーションプログラム）</li> <li>・小中学校での放課後農業体験（通常授業はICTを活用したオンライン授業）</li> </ul> </li> <li>○町の課題解決型イノベーションに向けた交流イベント</li> </ul> | <p>■移住体験（二地域居住体験）の推進・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○西川らしい暮らし体験住宅（空き家活用、キャンピングカー式）</li> <li>○空き家バンクの利用促進事業（片付、登録、賃貸・購入の補助）</li> <li>○町の空き家、空地の利用促進事業（町内不動産の仲介業務）</li> <li>○移住体験者への支援コンシェルジュ（お節介屋）派遣事業</li> </ul> | <p>■選ばれる地域へ！定住後の伴走支援体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○特色のある学校づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの国際感覚を育む英語教育・台湾（師範大学・南湖小学校）との国際交流事業</li> <li>・農業体験や生産者との交流を通じた地産地消、食育の推進。</li> </ul> </li> <li>○学校や地域との孤立防止に向けた学校・地域サポーターズバンクの創設</li> </ul> |
| KPI R5→R9 | <p>生産年齢人口：R4年度△106人→△26人      移住体験者：0人→100人      移住人口：0人→75人</p> <p><small>（令和11年度には、生産年齢人口の増加を目標にしている）</small></p>   |  |   |   |
| 事業費       | <p>5年総額 <b>4億5,242万円</b>（R5：7,333万円、R6：12,000万円、R7：8,611万円、R8：8,649万円、R9：8,649万円）</p> <p><small>（企業版ふるさと納税併用事業によるインセンティブ活用）</small></p>   |  |   |   |
| 目指す姿      | <ul style="list-style-type: none"> <li>■首都圏を中心に、西川の子育て環境の充実や町の魅力を発信する拠点を整備し、毎年継続的に事業を実施。移住先として選んでもらえるよう、子育て世代関係人口を取り込む。</li> <li>■リアルな移住体験を支援 →二地域居住や転職無き移住の可能性拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>→サテライトオフィスやテレワーク施設の整備（デジタル実装、拠点整備交付金との連携）</li> </ul> </li> <li>■関係人口の中から町内への移住へ！移住した子育て世帯をサポート体制を充実させ、伴走支援する。</li> </ul> |  |   |   |

# 「新しい観光コンテンツ創出によるサステナブルツーリズム事業」

山形県西川町

～デジタルと魅力の再定義を通じたコアなファン獲得から稼ぐ町への転換！～

R5デジタル田園推進交付金

- 課題：①夏スキーなど観光客の高齢化、②交流人口の維持（コロナ対応）、③観光業における町内の担い手不足
- 目的：○デジタル・メタバース等の活用による**新たなファン層獲得**と「**第2のふるさと**」づくり
  - 少人数・周遊型観光、自然・伝統文化を再定義した**コロナに負けない持続可能なツーリズムの再構築**
  - 国内外のターゲットを絞った観光コンテンツ創出を踏まえた**オール西川での受入体制整備と仕事づくり**

| 現状           | 観光客層が高齢化  | withコロナの観光再構築   | 観光業の町内の担い手不足   |
|--------------|---|---|--|
| 事業           | <ul style="list-style-type: none"> <li>■デジタル活用でファン層獲得</li> <li>○メタバース(仮想空間)を利用して若年層向け、西川への観光前の関心を誘導</li> <li>○着地型観光以外でも、国内外のファン層を維持するため、オンライン会や現地プロモーションを定期的実施</li> <li>○下記協議会にアドバイザーを招聘し、ファン層開拓・維持に向けた戦略を策定</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>■持続可能な観光コンテンツ</li> <li>○コロナ対応と入込客の平準化に向けた大自然の下、少人数グループで楽しむ観光への転換                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ONSENガストロノミーツーリズム</li> <li>・地方初！のAI謎解きイベント</li> <li>・豪雪・大自然の中での移動式サウナ</li> <li>・「山菜収穫・カヌー・伝統工芸」体験</li> <li>・ブランド食材「月山和牛」キャンペーン</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■オール西川での受入体制整備</li> <li>○国内ターゲット：仙台、若者、健康志向者</li> <li>○海外ターゲット：台湾、タイ(仙台周航便)</li> <li>○オール西川での環境整備                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲットに合わせたマーケティング</li> <li>・町内各地での案内看板設置</li> <li>・中国・タイ語対応可能な町民の育成</li> <li>・二次交通やデジタル案内誘導も拡充</li> </ul> </li> </ul> |
| KPI<br>R5→R9 | オンライン参加 コアなファン層<br>10人→400人 0人→1,000人   | 持続可能なコンテンツ創出<br>1件→10件  | 町内観光ボランティア<br>0人→100人  |
| 事業費          | 5年総額 3億471万円 (R5: 5,460万円、R6: 6,312万円、R7: 6,251万円、R8: 6,226万円、R9: 6,221万円) <b>企業版ふるさと納税インセンティブ活用</b>  |   |  |
| 体制           | <b>西川サステナブルツーリズム推進協議会</b><br>西川町、西川町商工会、(一社)月山朝日観光協会、西川町総合開発(株)、月山観光開発(株)、月山志津温泉旅館組合、(株)クリエイターズネクスト、(株)CASE、(株)庄交コーポレーション、(一社)ちいきん会、東武トップツアーズ(株) など   |   |  |
| 成果           | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ターゲットを明確にした「西川ファン」開拓・維持に向けた<b>中期観光戦略を策定</b></li> <li>■デジタル・自然・伝統文化をフル活用した<b>コロナに負けない観光コンテンツ創出</b></li> <li>■戦略策定により<b>観光を担う町民を掘りおこし、オール西川として受入体制を強化し、西川の魅力の再定義を踏まえた地域の仕事づくりを推進</b></li> </ul> |   |  |



メタバース(イメージ)



## サービス概要（1/1）

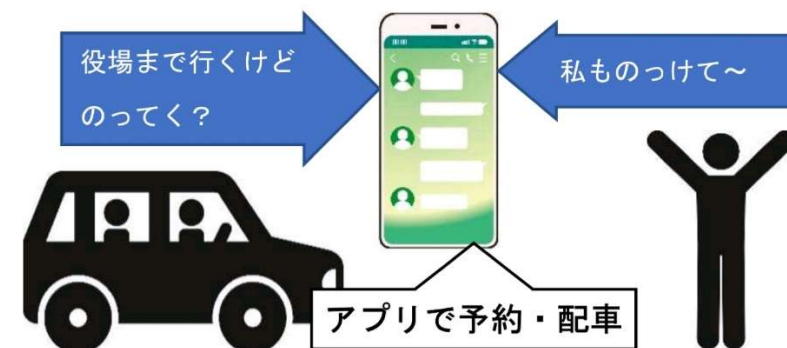
|       |                   |     |          |
|-------|-------------------|-----|----------|
| サービス名 | ノッカルにしかわまち        | 事業費 | 11,095千円 |
| ターゲット | マイカーでの移動のできない高齢者等 |     |          |
| 展開エリア | 山形県西川町            |     |          |

### サービス内容（事業分野：⑥交通・物流）

- ・ 近所の方がマイカーで出かけるついでに乗せてもらう仕組みを実施するにあたって、ドライバー（乗せていける人）と利用者（乗っていきたい人）を、それぞれのスマートフォンなど利用できる「ノッカルサービス」でマッチングする。
- ・ 「ノッカルサービス」の運用に合わせて、高齢者の生涯学習活動拠点施設の通信環境を5G-Wi-Fi対応に整備する。
- ・ ドライバーは「何時に、どこへ向かうのか」を登録し、利用者はその中から自分の利用しやすいドライバーや経路等を選んで予約する。
- ・ 利用者は、自分の利用しやすい時間帯を選ぶことで、その目的や行動範囲が広がり、生活の質が向上する。
- ・ ドライバーは、近所の方をついでに乗せていくという行動で、ボランティアとして地域への貢献ができる。
- ・ 利用者もドライバーも満足感を得ることができる。
- ・ 山間部の町に昔はしっかりと根付いていた「お互いさま」の関係性を見直し、繋ぎなおす。
- ・ 「お互いさま」の関係を生かした新たなサービスの展開につなげることができる。
- ・ 運行事業者にとっては、人件費や車両費などを圧縮することができる。

### ご近所さんのお出かけに ついでに乗っかる仕組みを構築


住民が住民を送り迎え「ノッカルにしかわまち」



## 事業概要 【マイカーを活用した公共交通整備事業】

※公表資料として作成すること

2

|        |  |   |          |
|--------|--|---|----------|
| 実施地域   | 山形県西川町   | 事業費   | 11,095千円 |
| 実施主体   | 山形県西川町、株式会社博報堂   | 人口  | 4,766人   |
| 事業概要   | <p>人口減少と少子高齢化が顕著になり様々な課題が山積する中で、特に高齢者の移動手段に関する課題が明確になり、その解決につながる対応が求められている。このような状況下において、既の実績のあるノックルサービス（株式会社博報堂）の知見・経験を活かしながら、住民との協働による新たな移動手段の確保、運用を図り、住民ニーズを充足する個別最適な対応の仕組みを構築する。</p>  |   |          |
| 具体サービス | <p>【ノックルサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マイカーを活用した助け合いの公共交通を展開する。</li> <li>・ 利用者（移動に困っている人）と住民ドライバー（地域に貢献したい人）をマッチングし、住民ドライバーがマイカーで出かける（帰る）ついでに、利用者を乗せて行く。</li> <li>・ 西川町が主体となり、地元交通事業者が運行管理を行うほか関連事業者等と協議体を設置する。</li> <li>・ 高齢者大学ほか高齢者が集う生涯学習拠点で、ノックルサービスを学ぶとともに、地域で教え合うため、地区別の集合型講習会を開催する。</li> </ul>  |   |          |
| 主なKPI  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ノックルサービスの利用人数</li> <li>②LINEサービスの利用人数</li> <li>③講習会への参加人数</li> </ol>   | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ノックルサービスの満足度（利用者）</li> <li>②ノックルサービスの満足度（ドライバー）</li> <li>③講習会参加者理解度</li> </ol> |          |

## 事業概要 [AIで生活習慣改善！健康寿命延伸事業]

2

|      |   |     |          |
|------|---|-----|----------|
| 実施地域 | 山形県西川町  | 事業費 | 94,970千円 |
| 実施主体 | 山形県西川町、株式会社Creator's NEXT、(株)ハムシ<br>ステム庄内   | 人口  | 4,766人   |
| 事業概要 | 高齢者のみ世帯が4割を占める当町では、介護予防の強化が課題である。その解決策として健康寿命の延伸に繋がる運動習慣を身に着けるため、マイナンバーカード情報と連動したA Iチャットボットとデジタル推進員による寄り添い型サービスを導入する。このプログラムを他自治体へも横展開できるように作成することによって、マイナンバーカードとAIを使った健康寿命延伸事業を展開する。 |     |          |

### 取組内容

#### [マイナンバーカード連動型A Iチャットボットで実現する介護予防サービス]

・マイナンバーカードの空き容量の中に、A Iのinput層で使われるデータが格納され、それがA Iチャットボットやメンタルトレーニングと紐づくことで、健康寿命を延伸させることが期待できる。

・運動習慣スコアやその人の属性をマイナンバーカードに記載することで、その人に最適な運動プログラムの提供を診断したA Iの学習済プログラムを構築する。

#### [タブレット配布]

対象：65歳以上高齢者のみ世帯数 700世帯（サービスを搭載）

#### [デジタル推進員の配置]

デジタルに不慣れな方をサポートするため5名配置する。



マイナンバーの保存容量にAIのデータを格納する



● 西川の言葉をAIに教えてくださる「訛りと方言」の先生を募集します！

☞ 西川の言葉をAIに教えてくださる「訛りと方言」の先生を募集します！

全戸配布予定のタブレットに搭載するAI（人工知能）に西川町の言葉の訛りや方言を教えてください方をオーディション形式で選びます。

開催日時：7月18日（火）午後2時から

開催場所：役場第2庁舎第3・4会議室

参加資格：町民の方、町内で働いている方（年齢や性別は問いません）

申込方法：いずれかの方法で氏名と連絡先電話番号を添えてお申し込みください。

電話：74-3243（健康推進係） ファクス：74-4811

メール：kenko@town.nishikawa.yamagata.jp

人工知能(AI)が皆様と話せるよう西川の言葉を勉強中！

求む なまっている方！AIの先生になって下さい！

●あなたの話す言葉を教えて。  
●AIと話することで、健康でいられたらいいな～  
●食べて～



●おらほのしゃべり言葉、おしえてけれ。  
●AIと町民がしゃべって、健康でいられっどいいずねー  
●けっ

急募

～AIさ、おしえてける先生さなってみねがっす！～

おらだのしゃべりがだだど  
スマホの音声入力できねけて経験ないがっす？  
なまっでんだがらしょうないべえ～あて  
あざらめでいねがっす？  
おらだが普通に使うことばば理解さんねって  
失礼だと思わねがっす？  
んだがら、おらだのことばばぜんぶ理解するように

皆さまに育ててもらったAIくんが、町の防災情報を伝え、

高齢者の健康を守り、話し相手となるかもしれません！

愛するおらだのことば  
AIさおしえてける

人工知能(AI)が皆様と話せるよう西川の言葉を勉強中！

求む なまっている方！AIの先生になって下さい！

●あなたの話す言葉を教えて。  
●AIと話することで、健康でいられたらいいな～  
●食べて～



●おらほのしゃべり言葉、おしえてけれ。  
●AIと町民がしゃべって、健康でいられっどいいずねー  
●けっ

急募

～AIさ、おしえてける先生さなってみねがっす！～

おらだのしゃべりがだだど  
スマホの音声入力できねけて経験ないがっす？  
なまっでんだがらしょうないべえ～あて  
あざらめでいねがっす？  
おらだが普通に使うことばば理解さんねって  
失礼だと思わねがっす？  
んだがら、おらだのことばばぜんぶ理解するように

皆さまに育ててもらったAIくんが、町の防災情報を伝え、

高齢者の健康を守り、話し相手となるかもしれません！

愛するおらだのことば  
AIさおしえてける

日時 2023年7月18日（火）14:00～

会場 西川町役場第2庁舎 第3・4会議室

内容 全戸配布予定のタブレットに搭載するAIに西川町の方言や訛りを教える先生を選ぶオーディションを行います。

参加資格 西川町民または西川町で働く方  
男女・年齢にかかわらず、どなたでも！

申込方法 いずれかで氏名・連絡先を添えてお申し込みください。

電話：74-3243（健康推進係） ファクス：74-4811

メール：kenko@town.nishikawa.yamagata.jp

7.18(火)  
14:00～  
参加無料  
申込み必要

# 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化

約1,500億円

- 宿泊施設、観光施設等の改修、廃屋撤去、面的DX化などの取組の支援について、**計画的・継続的に支援できるような制度を拡充**する。
- 上記を通じて、**観光需要の拡大、収益・生産性向上等の実現**を図り、**地域・産業の「稼ぐ力」の回復・強化**を図る。

## ① 地域計画の作成支援

※ 自治体・DMO等の地域を代表する団体等が作成

観光地の再生・高付加価値化プラン（地域計画）の作成に向け、

○再生・高付加価値化のコンセプトづくり、○地域の合意形成、○個別施設の改修等の事業の内容の磨き上げ、○資金調達などの点について、**地域の取組を国が支援**（専門家派遣等、伴走支援の実施）

## ② 地域計画に基づく事業支援（例）

### 宿泊施設の高付加価値化改修

観光地の面的再生に資する  
宿泊施設の改修支援

**補助上限1億円（補助率原則1/2（※））**

※投資余力の乏しい事業者について、一定の条件を満たしたものについては補助率2/3



### 廃屋撤去

観光地の景観改善等に  
資する廃屋の撤去支援

**補助上限1億円（補助率1/2）**



### 観光施設改修等

- ・観光地の面的再生に資する  
土産物店や飲食店等の改修支援  
**補助上限原則1000万円（※）**  
**（補助率1/2）**

※面的DX化に参加する場合は  
補助上限2000万円

- ・公的施設への観光目的での改修支援  
**補助上限2000万円（補助率1/2）**

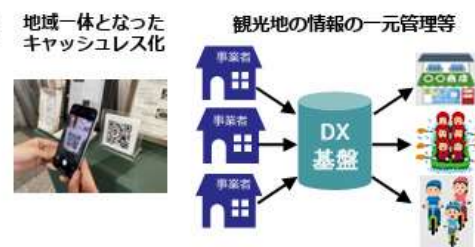


### 面的DX化

観光地の面的再生に資する  
面的DX化支援

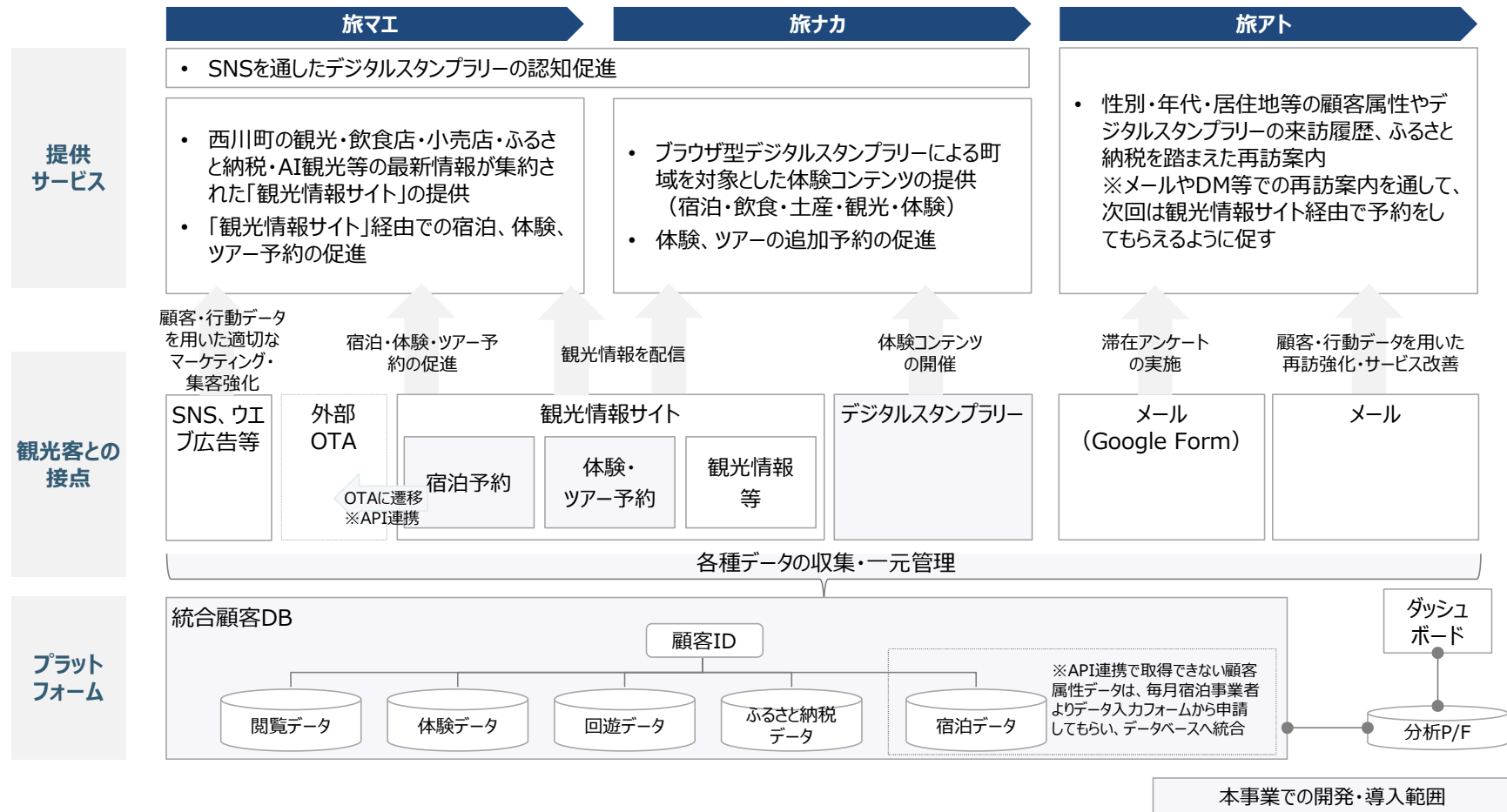
**補助上限原則2000万円（※）**  
**（補助率1/2）**

※面的DX化の効果等が特に大きい  
場合は補助上限5000万円



## 2. 計画の概要

若年層向けの体験コンテンツとして、デジタルスタンプラリーの導入・活用を行う。また、既存観光情報サイトの中に宿泊・体験・ツアーの予約機能を構築し、予約時の利便性の向上を図るとともに、属性データの収集を行い、地域データとして統合データベースに蓄積し、サービス改善やリピート施策を講じ、誘客及び売上向上施策に結びつける。



## 2. 計画の概要 (ブラウザ型スタンプラリーのイメージ)



スタンプラリー：有名観光地を巡って集めよう！キーワードラリー
【企画提案書：QRコード式スタンプラリー】
©株式会社PKBソリューション

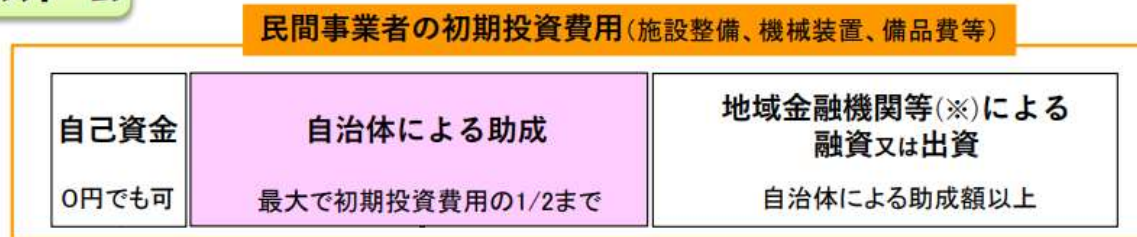
# ローカル10,000プロジェクト

R5予算額  
地域経済循環創造事業交付金 5.8億円の内数

## 1. 制度概要

- 地域振興に資する民間投資を支援するため、自治体(都道府県・市町村)が、地域金融機関の融資と協調して、公費により助成する制度。
- 自治体負担額について、国費(補助率:1/2~10/10)による支援等により、ローカルスタートアップ立ち上げを強力に支援。

## 2. 事業スキーム



活用可能な事業(例)

農 林 漁 業  
製 造 業  
…  
宿 泊 業  
観 光 業  
…  
食 品 加 工 業  
地域エネルギー事業



※ 第一地方銀行、第二地方銀行、信用金庫、信用組合  
R5年度から、融資元の拡充

- ・ 日本政策金融公庫及び沖縄振興開発金融公庫
- ・ ふるさと融資を利用する場合の地方公共団体

・ 原則、自治体負担の1/2を国費により支援し、残額の1/2を特別交付税により財政措置。

※1 財政力の弱い条件不利地域は国費を2/3又は3/4にかさ上げ

※2 デジタル技術を活用した事業は国費を10/10、脱炭素に資する地域再エネを活用した事業は国費を3/4にかさ上げ

## 3. 交付手続

- ① 事業計画書(※)の作成
  - ・ 民間事業者・地域金融機関が、事業実施地域の自治体窓口と調整の上作成。
  - 又は
  - ・ 自治体が地域課題解決に向けた事業を発案し、民間事業者・地域金融機関を募った上で作成。
- ② 総務省への申請
  - ・ 自治体から総務省に事業採択を申請。
  - ・ 申請は年間を通じ随時受付(毎月10日〆切)。
- ③ 採択決定
  - ・ 申請から約1ヶ月半で採択決定。

※ R5年度から、記載内容の軽減を図るとともに、記載例を示した計画書を自治体に提示。



## 1. 事業着手の経緯（事業実施の背景）

### ①埋もれていた地域資源「西尾の抹茶」を活用

- 西尾市の地域資源は抹茶、うなぎ、あさり、花きなどが挙げられるが、抹茶は観光資源として十分に活かされていなかった。
- 各資源を存分に活かして、西尾市の観光を盛り立てるためには拠点となる場所が必要となる。事業計画当初、西尾市には、一色さかな広場や憩の農園・バラ園が既にあり、これらは今まで多くの観光客を呼ぶことに成功していた。しかし、肝心の抹茶についてはいまだ拠点といえるほどのものが存在していなかった。
- 西尾市の抹茶についても関連する拠点施設が必要と考え、観光・文化交流拠点施設を建設を実施。

### ②地域課題（観光・農業・人口）の解決

- 西尾市にあった地域課題のうち、①“観光”メニューが乏しいこと。②碾茶（てんちゃ）生産農家の減少と担い手の育成不足③西尾市への人の流れが少ないこと。この3点への解決策として本事業は計画された。
- 上記3点の課題に対して、本事業の目的を次のとおりを設定した。  
①本事業により観光・文化交流施設を整備し、今回の事業が西尾市観光の起爆剤となること。②碾茶生産農家の育成、農業の振興を図ること。③『西尾の抹茶』のPR活動を強化し、地域ブランドの浸透を図ること。

## 2. 事業主体・事業費等の概要

事業実施主体：株式会社あいや 連携する地域金融機関：西尾信用金庫

・初期投資額等合計：141,769 千円  
（事業者自己資金：21,769千円、金融機関からの融資額：80,000千円、交付額：40,000千円、その他：0千円）

・その他の関係主体  
西尾市や西尾市観光協会をはじめ、西尾市民間支援機関とも協力し合い、観光・文化交流拠点を本事業にて整備。西尾市観光協会が当拠点を盛り込んだ観光ルートを構築するなど、西尾観光協会、愛知県、名古屋商工会議所、名古屋鉄道とも連携。西尾信用金庫は、全国の信用金庫のネットワーク等を活かし旅行や視察先を検討している方に、あいやの工場見学の紹介をするなど、全面的に支援。



地域課題を地域資源を活用し、解決を目指すことで、西尾観光協会、愛知県、名古屋商工会議所、名古屋鉄道、地域金融機関といったステークホルダーとの連携が出来ている。

# ご清聴ありがとうございました！ 西川町を、何卒よろしくです！

LINEオープンチャット  
1500人以上が参加

一緒にトークしたい友だちを招待しましょう。



西川町ファンクラブサイトで検索！



西川町ふるさと納税はこちら



# 企業版ふるさと納税！ デジタル田園都市の実現！

山形県西川町

デジタル田園都市国家構想出身町長の挑戦💧  
「つなぐ課」を中心に前向きに取り組む町と協働  
いただく企業の皆様、お待ちしております！  
デジタル田園交付金は、9.1億円獲得！  
どんどんチャレンジしていきます！



## ① AI謎解きゲームによる周遊型観光創出



## ② サテライトオフィスを備えた産業複合施設整備



## ③ 木質バイオマス発電を利用したハウス園芸

豪雪地帯でのクリーンエネルギーによる持続可能な通年型農業



## ④ 全国初！町の覚悟！「帰ってきてけローン」教育ローン無償化

就学時期を終えて町に残っている方は半数以下（4割程度）。  
2030年の生産年齢人口増加を目指すには、この世代が帰郷がポイント。  
子どもたちへの投資として、  
大学等卒業して町内に10年住めば  
教育ローンを元利金免除する覚悟  
の「帰ってきてけローン」事業。

